

## 環境及び技術情報交換の 実用化に向けた実証実験概要

環境及び技術情報交換実証実験TF

# 目次

1. 実証実験の主な目的
2. 今回実証実験
  - 2-1 今回実証実験のポイント
  - 2-2 前回実証実験との違い
3. 実証実験パターン展開図
4. 概要参加企業と実験部品品種・件数
5. 実証実験のスケジュール
6. 実証実験で評価・抽出された課題と  
要望および各委員会の対応策
7. 活動成果

# 1. 実証実験の主な目的

## 1) BtoB技術情報交換方式の検証

- \* ASPを經由、およびASP間連携による情報交換機能の共通性・利便性
- \* JAMP-GPとECALGA標準との整合性

## 2) 技術情報交換標準方式の見直しと適用評価

- \* ビジネスプロセスの単純化とBD(ビジネスドキュメント)の統一
- \* CII交換方式への適用と評価

# 1. 実証実験の主な目的

## 3) 情報交換のための支援ツール類の検証

- a) JEITA共通クライアント
- b) XMLメッセージ作成支援ツール
- c) XML/CII変換ツール
- d) ECALSデータ作成支援ツール
- e) JEITA\_AIS作成支援ツール

## 2-1 今回実証実験のポイント

実用シーンを意識した環境で実施

- ①通信経路はASPを活用
- ②CII形式による交換を実現
- ③データ作成支援ツールを充実
- ④AISに加えて、ECALSデータも交換

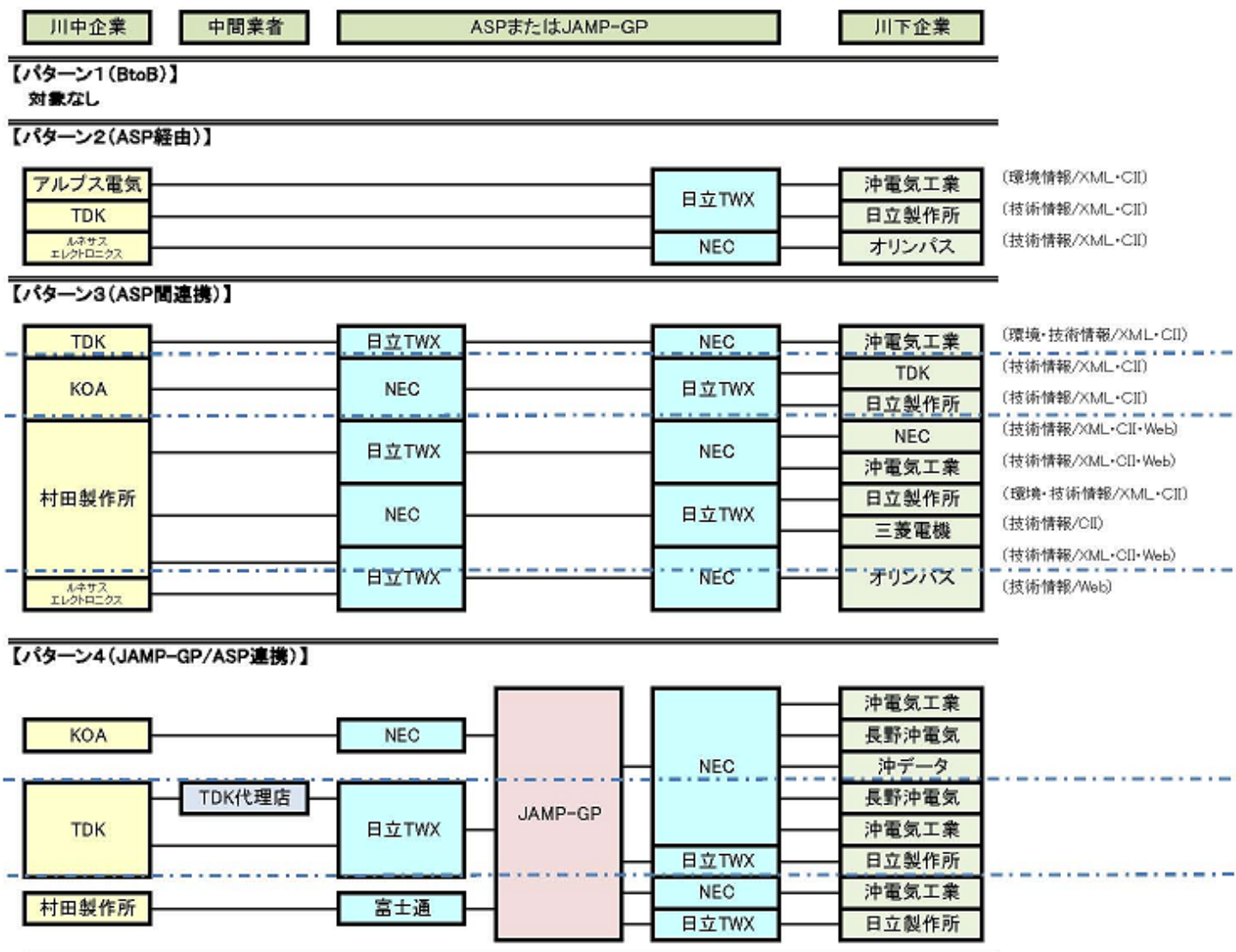
## 2-2 前回実証実験との違い

No.	検証項目	前回、2009年 環境情報流通実証実験	2011年 環境及び技術情報交換実証実験
1	情報交換方式	メール方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web方式</li> <li>・ASP単独利用</li> <li>・ASP間連携（※）</li> <li>・JAMP－GP経由</li> </ul>
2	ECALGA メッセージ	使用無し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術情報交換メッセージ （XML形式・CII形式）</li> </ul>
3	通信ツール	メール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JEITA共通クライアント</li> <li>・ASP（含、JAMP－GP経由）</li> </ul>
4	支援ツール	AIS作成支援ツール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・XMLメッセージ作成支援 ツール</li> <li>・XML/CII変換ツール</li> <li>・ECALSデータ作成支援 ツール</li> <li>・AIS作成支援ツール</li> </ul>

（※）：ASP間 連携環境は、経済産業省のビジネスインフラ事業で行った実証実験環境です。  
（2011.1.21のECALGA実用化セミナーにて発表済み。）

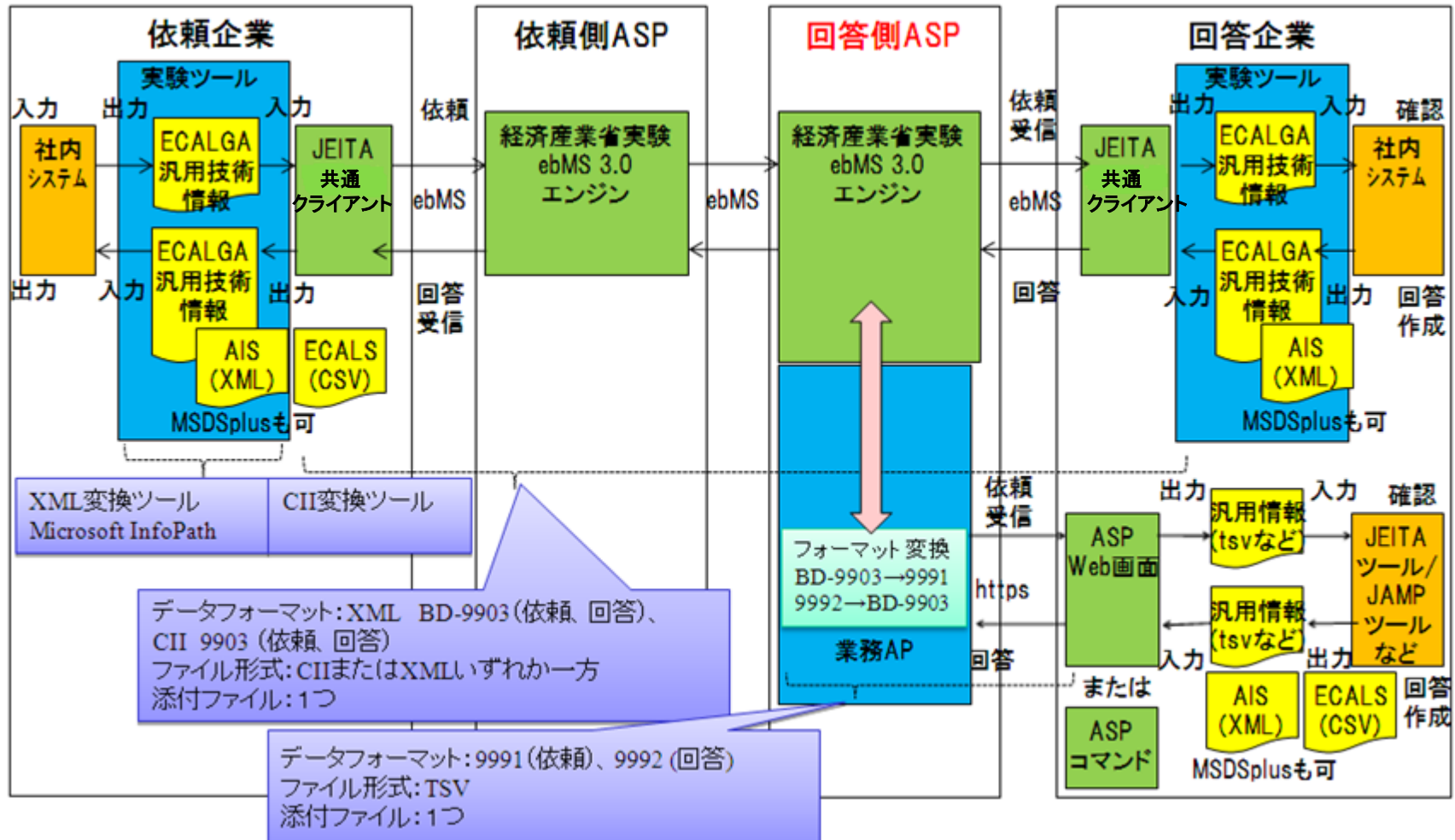
# 3. 実証実験パターン展開図

環境及び技術情報交換実証実験パターン



# 実証実験の接続環境について(ASP間連携モデルの場合)

- ・2つのASPで環境情報またはECALSデータを授受
- ・伝送フォーマットは、ECALGA汎用技術情報をベースに利用
- ・通信手順は、ebMS3.0(JEITA共通クライアント)、ASP-Web画面(回答側)、ASPコマンド(回答側)を利用



注) データフォーマットの9991(依頼)、9992(回答)は実験用の情報区分



# 4. 参加企業と実験部品品種・件数



実験パターン	川中企業	川下企業	部品品種	ECALS 件数	AIS 件数	総 件数
パターン2 (ASP経由)	アルプス電気(株)	沖電気工業(株)	スイッチ	0	8	8
	TDK(株)	(株)日立製作所	インダクタ・コンデンサ	27	0	27
	ルネサスエレクトロニクス(株)	オリンパス(株)	MOSFET	10	0	10
パターン3 (ASP間 連携)	TDK(株)	沖電気工業(株)	コンデンサ	37	0	37
	KOA(株)	TDK(株)	抵抗器	2	0	2
		(株)日立製作所	抵抗器	30	0	30
	(株)村田製作所	日本電気(株)	コンデンサ	42	0	42
		沖電気工業(株)	コンデンサ	8	2	10
		(株)日立製作所	コンデンサ	10	5	15
		(株)日立製作所	インダクタ、他	0	5	5
		三菱電機(株)	コンデンサ	10	0	10
		オリンパス(株)	コンデンサ	10	0	10
	ルネサスエレクトロニクス(株)	オリンパス(株)	MOSFET	10	0	10
パターン4 (JAMP- GP)	KOA(株)	沖電気工業(株)	抵抗器	0	24	24
		(株)沖データ	抵抗器	0	21	21
	TDK(株)	長野沖電気(株)	コンデンサ	0	2	2
		沖電気工業(株)	コンデンサ	0	14	14
		(株)日立製作所	コンデンサ	0	1	1
	(株)村田製作所	沖電気工業(株)	コンデンサ	0	50	50
		(株)日立製作所	コンデンサ	0	40	40

# 5. 実証実験のスケジュール概要

項目	'10/9月	'10/10月	'10/11月	'10/12月	'11/1月	'11/2月	'11/3月	'11/4月
実証実験準備会 開催	9/13							
第1回	▼ 10/5							
第2回		▼		12/17				
第3回				▼				
実証実験の情報流通基盤整備、 各種支援ツール開発								
各社コンテンツ整備と 関連ツールの導入								
実証実験実施、および評価								
評価課題・要望のまとめと 対応策検討								

# 6. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

評価項目(大分類)		主な課題・要望等
情報交換 実装環境の 検証	Web-EDI モデル	<ul style="list-style-type: none"><li>*データフォーマット形式(XML/CII)を、依頼・回答企業間、及びASPとの間で取り決めが必要。 </li><li>*受信データのクライアント側へのダウンロード機能が欲しい。</li><li>*依頼が無くても、提供側から発信できる機能が欲しい。</li></ul>
	ASP接続及び ASP間連携モデル	<ul style="list-style-type: none"><li>*ASP内の処理でエラーが発生した場合、送信者側にエラー内容を返す機能が欲しい。</li><li>*エラー発生した場合の解り易い対応マニュアルが欲しい。</li><li>*送受信確認のため、ASP内処理の履歴を確認したい。</li><li>*中間業者(商社、代理店等)を経由する場合のビジネスモデルの明確化。</li><li>*1つのビジネスドキュメントIDや情報区分で実施すると送受信データの管理が複雑になるので、送信と受信でビジネスドキュメントIDや情報区分を分けて欲しい。 </li><li>*最低限必要なメッセージ、オプション等のメッセージが分かるようにして欲しい。</li></ul>
	JAMP-GP 接続モデル	<ul style="list-style-type: none"><li>*商社等の中間業者が介在した場合のビジネスモデルの明確化。</li><li>*複数添付ファイルを取扱いたい。</li></ul>

# 6. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

関連ツールの検証	JEITA共通クライアント	<ul style="list-style-type: none"><li>*添付ファイルを送信する際の、解り易いマニュアル整備。</li><li>*添付ファイルを格納する際の、ホルダー名の継承と、ファイル処理の取扱い方法の明確化。</li><li>*エラー発生した場合の解り易い対応マニュアルが欲しい。</li></ul>
	XMLメッセージ作成支援ツール	<ul style="list-style-type: none"><li>*必須項目が分かる様にして欲しい。▶</li><li>*項目属性(文字、長さ、日付等)の画面表示が欲しい。</li><li>*ビジネスドキュメント標準情報の取扱いと適用の明確化。</li><li>*入力内容のチェック機能を付加したい。</li></ul>
	XML/CII変換ツール	<ul style="list-style-type: none"><li>*特殊な作業時にエラーが発生する。改善が必要。</li><li>*ユーザがファイル名を自由に設定したい。</li></ul>
	ECALSデータ作成支援ツール	<ul style="list-style-type: none"><li>*データ形式(CSV/XML)の統一化、或いは相互変換機能を追加して欲しい。▶</li><li>*Data TypeがENUM項目のプルダウン化等、入力作業を簡便化して欲しい。</li></ul>
メッセージフォーマット	XMLフォーマット	<ul style="list-style-type: none"><li>*過不足項目が無い、再度ビジネスドキュメントの見直しが必要。</li><li>*新しいBD(明細)の中で定義が明確でないものがある。</li></ul>
	CIIフォーマット	<ul style="list-style-type: none"><li>*「分割可変長モード」と「分割固定長モード」を依頼者側と回答側で事前の取り決めが必要。</li></ul>
	添付ファイル実装	<ul style="list-style-type: none"><li>*添付ファイル容量制限の上限の取り決め、及びガイドラインが必要。</li></ul>
全体プロセス	業務管理	<ul style="list-style-type: none"><li>*運用簡略化のため、ツール間の連携処理が出来ないか？</li></ul>

上記課題・要望に各委員会およびASPで対応検討中。  
対応策は「補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各員会の対応策」参照。

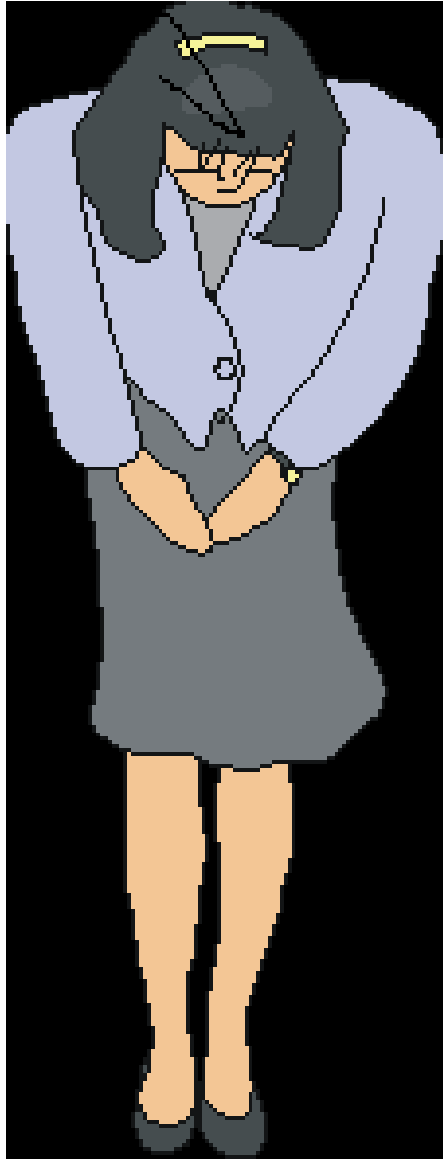
# 7. 活動成果

今回の実験において、新たに取り込んだ標準及び各種ツールが実用に耐えられるものと判断した。

- ・ASPを経由、およびASP間連携による情報交換機能は確認できた。
- ・JAMP-GPとECALGA標準との整合も確認できた。
- ・ビジネスプロセスの単純化とBDのCII／XML化も見通しが立った。
- ・各種ツールも評価し、改修部分も明確となった。

実証実験評価結果の課題、要望等に対する対応方針、施策をECセンター関連委員会で検討し、平成23年度事業の中でテーマ化し、情報交換のためのビジネスドキュメントの見直し及び利便性の高い情報交換の新たな方式の標準化と提案、ツールの改修は済んでおり、ホームページ上での無償公開等を行っています。

# 最後に



ご静聴  
ありがとう  
ございました！

# 説明資料

TPAサンプル

1/2

	企業名	事業所名	部門名
	担当者名	TEL	E-mailアドレス
依頼者	発注社	東京支社	資材部
	発注 太郎	03-****-****	<a href="mailto:hattvu@co.jp">hattvu@co.jp</a>
回答者	受注社	関西支店	営業部
	受注 二郎	06-****-****	<a href="mailto:itvu@co.jp">itvu@co.jp</a>
生産者(参考)			

TPA番号	
TPA締結日	2011/**/**
発効日	2011/**/**
有効期限	201*/**/**
更新日	2011/**/**
依頼者登録機関ID	<input checked="" type="checkbox"/> CII(0147) <input type="checkbox"/> TDB(0170) <input type="checkbox"/> DUNS(0060)
依頼者企業ID	*****
事業所コード	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合、別紙にコードを記入のこと
回答者登録機関ID	<input checked="" type="checkbox"/> CII(0147) <input type="checkbox"/> TDB(0170) <input type="checkbox"/> DUNS(0060)
回答者企業ID	\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$
交換方式	<input type="checkbox"/> XML <input checked="" type="checkbox"/> CII( <input type="checkbox"/> 分割モード <input checked="" type="checkbox"/> 通常モード)

環境情報の標準	<input checked="" type="checkbox"/> AIS <input type="checkbox"/> JGPSSI <input type="checkbox"/> JIG <input type="checkbox"/> JAMA <input type="checkbox"/> その他( )
使用言語	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 交換単位に指示
シリーズ品	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

TPA対象品種	コンデンサ	抵抗器	コイル
その他 (対象品種・交換データ容量条件の取決め等)			





# 説明資料

**変更点** ①技術情報依頼・通知情報と技術情報回答情報の2つのBDに分ける  
②技術情報区分を新設し、何の情報かを識別

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1				ビジネスドキュメント名称	ビジネスドキュメントID		バージョン							
2				技術情報依頼・通知情報	BD-0830		Ver2011A-Rev01							
3														
4														
5														
6	行番	クラスNo.	項目No.	項目名	必須	キー	CD	項目定義		値の型	出現回数	改訂箇所		
7	1	C00008		データ順序と属性	●			トランザクションデータ作成のタイミング、順序、新規、実 受、取消の区分を示すクラス 受信者での受信データの処理順序を表す番号。 受信者は、受信データをその番号の昇順に処理するため、送信 者は振替方法について「Ⅱ. 技術編 2. 4 (3) データ処理 No.の編集基準」に従うこと。				変更(構 成)		
8	2		00001	データ処理No.	●					9 (5)	Ⅱ			
9	3		00002	情報区分コード	●		*	情報の種類を示すコード(技術情報依頼・通知情報=0101)		X (4)	1			
10	4		18012	データ作成日	●			データを作成した日付。		X (8)	1			
11	5		18013	データ作成時刻	●			データを作成した時刻。		X (8)	1			
12	6		00003	訂正コード	●		*	情報の新規・変更・取消を示すコード。		X (1)	1			
13	7	C00009		発注者	●			注文を行う企業			1			
14	8		00005	発注者コード	●	*	*	注文を行う企業(6桁6桁)及びその営業所・事業所・部門等 (6桁)を表すコードで、統一企業コードにより示す。		X(12)	1			
15	9		18022	発注者コード管理組織	●	*	*	発注者コードを管理する団体を示すコード。		X(10)	1			
16	10	C00010		受注者	●			注文を受ける企業			1			
17	11		00004	受注者コード	●	*	*	注文を受ける企業(6桁)及びその工場・事業所・事業部門等 (6桁)を表すコードで、統一企業コードにより示す。		X(12)	1			

● ★ ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●

● ● ●



# 説明資料

<input type="button" value="閉"/>	
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="保存(○II形式)"/>	
BDデータタイムゾーン	<input type="text"/>
BDデータ作成日	<input type="text" value="20111116"/>
BDデータ作成時刻	<input type="text" value="132709"/>
送信者コード	<input type="text"/>
送信者コード管理組織	<input type="text"/>
送信者所属プロバイダコード	<input type="text"/>
送信者センタコード	<input type="text"/>
受信者コード	<input type="text"/>
受信者コード管理組織	<input type="text"/>
受信者所属プロバイダコード	<input type="text" value="選択..."/>
受信者センタコード	<input type="text"/>
ビジネスドキュメント標準	<input type="text"/>
ビジネスドキュメントのバージョン	<input type="text"/>
ビジネスドキュメントID	<input type="text"/>
コンプレックスビジネスコラボレーションID	<input type="text"/>
ビジネスコラボレーションID	<input type="text"/>
ビジネストランザクションID	<input type="text"/>
ビジネスアクションID	<input type="text"/>
基本TPAの管理番号	<input type="text"/>
カンパセションID	<input type="text"/>
BC回答期限日	<input type="text"/>

# 説明資料

BC回答期限時刻	<input type="text"/>
BC 制御意味コード	<input type="text"/>
BC 制御理由コード	<input type="text"/>

テスト本番区分	<input type="text"/>
---------	----------------------

タイムゾーン	<input type="text"/>
データ作成日	20111116
データ作成時刻	132709
データ処理No	<input type="text"/> *
訂正コード	<input type="text"/>

発注者コード	<input type="text"/>
発注者コード管理組織	<input type="text"/>
発注者企業名	<input type="text"/>
発注者企業名(漢字)	<input type="text"/>
発注者企業の国コード	<input type="text"/>
発注部門コード	<input type="text"/>
発注部門名	<input type="text"/>
発注部門名(漢字)	<input type="text"/>
購買担当	<input type="text"/>
購買担当(漢字)	<input type="text"/>

受注者コード	<input type="text"/>
受注者コード管理組織	<input type="text"/>
受注者企業名	<input type="text"/>
受注者企業名(漢字)	<input type="text"/>
受注者企業の国コード	<input type="text"/>
受注部門コード	<input type="text"/>
受注部門名	<input type="text"/>

# 説明資料

受注部門名(漢字)	<input type="text"/>
営業担当	<input type="text"/>
営業担当(漢字)	<input type="text"/>

倉庫事業者コード	<input type="text"/>
倉庫事業者コード管理組織	<input type="text"/>
倉庫事業者企業名	<input type="text"/>
倉庫事業者企業名(漢字)	<input type="text"/>
倉庫事業者企業の国コード	<input type="text"/>
倉庫部門コード	<input type="text"/>
倉庫部門名	<input type="text"/>
倉庫部門名(漢字)	<input type="text"/>
倉庫担当	<input type="text"/>
倉庫担当(漢字)	<input type="text"/>

汎用技術情報依頼番号	<input type="text"/>
------------	----------------------

依頼提供区分	<input type="text"/>
情報区分	<input type="text" value="選択..."/>
技術情報名称	<input type="text"/>
技術情報名称(漢字)	<input type="text"/>

依頼者担当者名	<input type="text"/>
依頼者担当者名(漢字)	<input type="text"/>
依頼者担当者役割名称	<input type="text"/>
依頼者担当者役割名称(漢字)	<input type="text"/>
依頼者担当者e-mailアドレス	<input type="text"/>

提供側担当者名	<input type="text"/>
---------	----------------------

# 説明資料

発注元企業名	<input type="text"/>
発注元企業名(漢字)	<input type="text"/>
発注元部門名	<input type="text"/>
発注元部門名(漢字)	<input type="text"/>
発注元担当	<input type="text"/>
発注元担当(漢字)	<input type="text"/>
発注元担当役割名称	<input type="text"/>
発注元担当役割名称(漢字)	<input type="text"/>
発注元担当e-mailアドレス	<input type="text"/>

部品分類コード	<input type="text"/>
部品分類名称	<input type="text"/>
部品分類名称(漢字)	<input type="text"/>
依頼者品番	<input type="text"/>
提供者品名	<input type="text"/>
提供者品名(漢字)	<input type="text"/>
シリーズ区分	<input type="text"/>
依頼区分	<input type="text"/>
依頼日(依頼者)／提供日(提供者)	<input type="text"/>
提供期限(依頼者)	<input type="text"/>
依頼内容	<input type="text"/>
依頼内容(漢字)	<input type="text"/>
提供区分	<input type="text"/>
提供内容	<input type="text"/>
提供内容(漢字)	<input type="text"/>
自由項目欄1	<input type="text"/>
自由項目欄2	<input type="text"/>

☒ 技術情報依頼提供内容の挿入

添付ファイル有無区分	<input type="text"/>
添付ファイル名	<input type="text"/>



## ECALSデータ作成支援ツール

- \* ECセンター・ホームページで無償提供している、部品情報のECALSデータを作成するためのテンプレート出力を行なうツール。

ECALS辞書のCSVファイルをインポートし、対象選択した部品品種のデータ作成用テンプレートを出力する。  
パソコンの Excel環境で動作する。

ECALSデータ作成者は、高価なシステムを導入すること無く、またECALS辞書の知識や辞書構造等を意識することなく、出力されたテンプレート上に製品の特  
性値等を入力することで容易にECALS情報を作成することができる。

# 説明資料

## 「ECALSデータ作成支援ツール」のトップ画面と、出力されたフォーマットとデータ作成例

### ECALSデータ作成支援ツール (Ver. 1.10)

本ツールは、ECALSの部品分類(クラス)毎にプロパティ一覧を表示、およびデータ入力に使用するテンプレートを作成するものです。  
任意のバージョンのECALS辞書ファイルを読み込むことにより、そのバージョンにおけるプロパティ一覧を確認し、テンプレートを作成することが出来ます。

辞書バージョン: 11.1

(作成したテンプレートの黄色セルは記述属性が「必須」の項目です。)

1. ECALS辞書読み込

2. クラス表示

言語切り替え

日本語

※指定された言語で辞書内容を確認します。

初期設定で辞書Ver.11.1がセットされています。別Ver.の辞書を使用する場合は読み込みから始めて下さい。

#### ご利用方法

1. ECALS辞書を読み込む。

- 1-1 ECALS辞書ファイルを用意します。  
JEITA EECセンターのサイト(<http://ecjeita.or.jp/>) » 標準類 » ECALS標準 » 「ECALS辞書ダウンロード」からダウンロードすることが出来ます。  
ECALS利用者登録されている方は「ECALS利用者サイト」からも辞書のダウンロードが出来ます。  
必要なファイルは「clsdic.csv」、「prpdic.csv」、「prptmp.csv」、「pvidic.csv」の四つです。ファイルが違うと動作しませんのでご注意ください。
- 1-2 辞書のバージョンを黄色枠に入力(例:11.1、12.1等)、「1. ECALS辞書読み込」ボタンをクリックします。
- 1-3 ファイル選択画面が表示されるので、ECALS辞書のクラスファイル(clsdic.csv)を選択します。  
その他の辞書ファイル(prpdic.csv)、「prptmp.csv」、「pvidic.csv」は、「clsdic.csv」ファイルと同じフォルダに置いてください。  
なお、他のCSVファイルがフォルダ内に有っても、自動でファイル名を確認して必要なCSVファイルを読み込みます。
- 1-4 読み込みには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

2. 部品分類(クラス)に属するプロパティを表示する

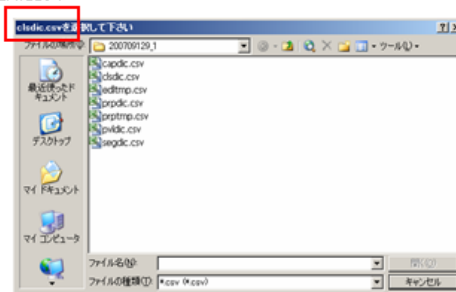
- 2-1 (必要に応じて)表示する言語を選択します。
- 2-2 「2. クラス表示」ボタンを押下し、クラスツリーを表示します。
- 2-3 クラスツリーから、プロパティを表示したい最下層クラスを指定します。
- 2-4 シート[Summary]に、指定した最下層クラスのプロパティの概要が表示されます。
- 2-5 シート[Detail]に、指定した最下層クラスのプロパティの詳細が表示されます。  
なお、DATA TYPEが[ENUM] (選択肢項目) のセルをクリックすると、そのプロパティ値が表示されます。
- 2-6 シート[Selection]では、指定した最下層クラスのプロパティがDATA TYPE[ENUM]の選択肢の内容が全項目表示されます。

3. テンプレートを作成する(上記、表示されたプロパティを元に作成します)

- 3-1 (必要に応じて)表示する言語を選択します。
- 3-2 「2. クラス表示」ボタンを押下し、クラスツリーを表示します。
- 3-3 クラスツリーから、プロパティを表示したい最下層クラスを指定します。
- 3-4 シート[Summary]に、指定した最下層クラスのプロパティの概要が表示されたら、クラスツリーフォーム左下の「テンプレート出力」ボタンを押します。
- 3-5 本ツールと同じフォルダ内に、指定した最下層クラスのテンプレートが作成されます。 ファイル名: クラスコード + 言語区分(ja,en) + クラス名称 + 辞書バージョン  
(作成したテンプレートの黄色セルは記述属性が「必須」の項目です。)

#### 免責事項

JEITA EECセンターは、本ソフトウェアが利用者に与える損害、障害を与えたとしても、一切の責任を負いません。  
また、本ソフトウェアに万が一にも不具合が発生しても、JEITA EECセンターはソフトウェアに関する修正の義務を負うものではありません。

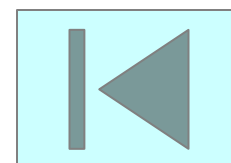


# 説明資料

## (データの作成例) \*シートの一部を抜粋

部品分類コード	製品分類名称	製品名	ファミリ名	品番(メーカー形式)	企業コード	企業名	製品概要	用途	パッケージ型名	製品供給状態
XJE005	XJE007	XJE008	XJE009	XJE010	XJE012	XJE011	XJE014	XJE015	XJE016	XJE013
String	String	String	String	String	String	String	String	String	String	ENUM
XJA771	チップ固定抵抗器	小型角形チップ固定抵抗器	MCR006	MCR006YZPJ112	aaaaaaaa	ロ株式会社	・メタルグレース系抵抗体を採民生用、			量産体制
XJA771	チップ固定抵抗器	小型角形チップ固定抵抗器	MCR006	MCR006YZPJ162	aaaaaaaa	ロ株式会社	・メタルグレース系抵抗体を採民生用、			量産体制
XJA771	チップ固定抵抗器	小型角形チップ固定抵抗器	MCR006	MCR006YZPJ273	aaaaaaaa	ロ株式会社	・メタルグレース系抵抗体を採民生用、			量産体制

定格電力 [Max]		定格抵抗値 [Nom]		許容差 [Nom]		定格電圧 [Max]		素子最高電圧 [Max]		カテゴリ温度範囲 [Min]		カテゴリ温度範囲 [Max]
XJF711_Max	W	XJF712_Nom	Ohm	XJF713_Nom	%	XJF714_Max	V	XJF715_Max	V	XJF716_Min	Cel	XJF716_Max
RealM	Prefix	RealM	Prefix	RealM	Prefix	RealM	Prefix	RealM	Prefix	RealM	Prefix	RealM
0.05;W		1.1;kOhm		5;%				25	V	-55;Cel		125
0.05;W		1.6;kOhm		5;%				25	V	-55;Cel		125
0.05;W		27;kOhm		5;%				25	V	-55;Cel		125



# 補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

項番	評価項目(大分類)	評価項目	質問項目	課題・要望等の整理(参考)	対応策と検討者 (4月15日実証実験TF臨時会議での協議結果)	
3	情報交換実装環境の検証	Webモデル	操作性	1) Web画面の操作性は容易でしたか？	2. BDのデータ形式(CIIかXMLか)を情報交換を行う企業間だけでなく、ASPも含めて取り決めておく必要がある。	2. <b>【ECM委員会、情報技術委員会】</b> ECM委員会、情報技術委員会にて、標準策定の際にTPAに織り込むことなどを決定する。
4			機能性・運用性	1) 画面表示項目や用意された業務(メニュー等)は充分ですか？	2. 複数の部品分類に対応できる機能が必要。 3. 受信したデータフォーマット(XMLまたはCII)に対応した回答データを作成する機能が無い。 5. 受信したデータをダウンロードできる機能が必要。 5. 依頼データが無くても回答データを提供できる機能が必要。	2. <b>【ASP】</b> ASP機能として検討が必要。  3. <b>【ASP】</b> 上記2と同じ。データのフォーマットタイプの切り替え機能の提供。 5. <b>【ASP】</b> ASPサービス機能として今後検討する。
5		ASP接続モデル及びASP間連携モデル	接続性	1) 接続は順調にできましたか？	4. httpsで接続ができないケースがある。Httpsで接続できるよう対応してほしい。	4. <b>【情報技術委員会】</b> 基本はhttpsでの送受信。情報技術委員会にてhttpsで対応できるようにしていただく必要あり。
6			2) ASPとの接続認証レベル(ログイン)は順調にできましたか？	1. httpsで接続ができないケースがある。Httpsで接続できるよう対応してほしい。 2. SSL認証時にJEITAクライアントでエラー。(原因:CRコードが2バイトだったため)	1-2. <b>【情報技術委員会】</b> 情報技術委員会にSSLでの対応検討を依頼する。	



# 補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

8	情報交換 実装環境 の検証	ASP接続 モデル及 びASP間 連携モデ ル	接続 性	4) 障害(エラー)対応は適切でしたか？ －障害(エラー)の切り分けと利用者への通知 －ASP受付時のエラー －フォーマット変換時のエラー等	1. ASP内部処理でのASP間のデータチェック仕様違い(日付、時刻)、BD作成支援ツールのデータチェック仕様(半角/全角文字の扱い)との違いがあった。 2. 3. ASP内処理でのエラーが送信者側にフィードバックされていない。 6. BD上での必須項目の識別がほしい。 6. データ形式XMLとCIIで許容される文字属性が違うケースがある。XML⇄CII間でエラーが発生しないようにしてほしい。 7. ASP内部処理でのエラーを迅速に利用者に伝える機能・手段が必要。 8. 利用者自身がエラー等の問題判別ができるようにしてほしい。 9. 10. メールを使った情報交換との違いが解らない。	1. <b>【情報技術委員会】</b> ASP間連携WGにてデータのシリアルライズについて検討いただく。 2-3. <b>【ASP】</b> ASPサービス機能として検討いただく。 6. <b>【ECM委員会】</b> ①infopath画面を改善する。②磯部さんと大関さん とでチェック項目を洗い出し、ALSIでInfopathをチェ ックする。 7. <b>【APS】</b> ASPサービス機能として検討いただく。 8-10. <b>【TFでの意見】</b> 利便性およびセキュリティポリシーの認識の問題に なります。セキュリティが希薄な状態での情報交換 は問題があるとの認識です。
9			機能 性・運 用性	1) ASP機能 －通知機能は簡便ですか？ －回答機能は簡便ですか？	2. ASPにデータ新着があれば受信企業にメールで知らせる機能が必要。 3. テストや送信確認に使用するために自社宛のデータを送信/受信できる機能がほしい。 4. ASP間のデータの送受信はリアルタイム？それともバッチ処理での一定間隔の送受信？ 5. ASP内で送信済み/受信済みデータは保管されている？ユーザ要求で再送受信も可能？ 6. ASP内処理の送受信履歴を参照することができる機能がほしい。 7. トラブル時のエラーリカバリー等で再度ダウンロード/受信(再受信等)することができる機能がほしい。	2. <b>【ASP】</b> ASPサービス機能として検討いただく。 3. <b>【ASP】</b> ASPサービス機能として検討いただく。 4. <b>【ASPから回答済み】</b> Webを除き、リアルタイムに送受信。 5. <b>【ASPから回答済み】</b> データ再受信要求に対応するASPサービス機能あり。 6-7. <b>【ASP】</b> ASPサービス機能として検討いただく。

# 補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

10	情報交換 実装環境 の検証	ASP接続 モデル及 びASP間 連携モデ ル	機能 性・運 用性	2) ログメッセージは適切でしたか？	1-3. 、6. クライアント側の処理で表示されるログ/エラーメ ッセージ等が解りづらい。利用者が解読でき対処できるマニユア ルを準備してほしい。	1-3. 6. <b>【APS】</b> ASPサービス機能として検討いただく。
11				3) 接続メッセージは適切ですか ーメッセージ種別に過不足はありま せんか？ ーメッセージ項目に過不足はありま せんか？ ーメッセージ項目は容易に理解でき ましたか？ ーメッセージ作成は容易でしたか？	1. 送信BDと受信BDでビジネスドキュメントIDや情報区分を 分ける必要がある。 2. 4. BD上での必要項目の見直しを行ってほしい(不要な項 目の削除、シンプルな情報交換になるように)。必要となった 項目が何に使われるのか解るようにしてほしい。 6-7. 商社経由するようなケースは対応可能か？具体的な対 応例がほしい。 8. 交換情報の種類が変わっても汎用BDの内容がうまく対 応・整合できていることを示してほしい。 9・BD上の必須項目、オプション項目等の識別がほしい。 11. BDの項目桁数の見直しが必要。英語企業名20桁は少 ない。	1. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会にてメッセージ策定時に決定する。 2. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会にてメッセージ策定時に決定する。 4. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会にてメッセージ策定時に決定する。 6-7. <b>【ECM委員会】</b> .ECM委員会にて明確にする。 8. <b>【ECM委員会】</b> 詳細については沖電気に確認要。 9. <b>【ECM委員会／情報技術委員会】</b> Infopathの項目で検討。(磯部さん、大関さん調整 後ALSIで検討)  11. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会にて検討。(見直し含む)
18			機能 性・運 用性	3) 接続メッセージ (ASP間連携にお ける視点での評価)は適切でした か？ ーメッセージ種別に過不足はありま せんか？ ーメッセージ項目に過不足はありま せんか？ ーメッセージ項目は容易に理解でき ましたか？ ーメッセージ作成は容易でしたか？	2. AISで新しく追加となった項目(事業所コード、備考欄)の検 証ができていない。 3. 商社を経由する取引ケースの具体的なビジネスモデルと BDの項目を知りたい。	2-3. <b>【JEITA-JAMP連絡会】</b> JEITA-JAMP連絡会での検討事項。

# 補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

20	ツール群	ECALSデータ作成支援ツール	機能性・運用性	1) ツール機能 ーインストールは容易ですか？ ー入力は容易ですか？ ーECALS辞書との互換性に問題はありませんか？	1. ECALSデータ形式の統一化が必要。(公開辞書形式のXML、XML変換前のCSV形式がある。) 2. ECALSデータ入力が大変。ENUMはプルダウンから選択等の入力負荷軽減策が必要。 10・ECALSデータ交換の普及にはもう一工夫必要。(ツールは難しくなく戸惑いなく使えた。項目に何を入力するか確認が必要で実業務では難しい。)	1. <b>【ECALS実用化専門委員会】</b> ECALS実用化専門委員会でECALSデータ形式の統一を検討。 5. <b>【ECALS実用化専門委員会】</b> データ作成支援ツールの入力軽減策の検討が必要。
21		XMLメッセージ入力支援ツール	機能性・運用性	1) ツール機能 ーインストールは容易ですか？ ー実行は容易ですか？ ー入力は容易ですか？	1. 入力画面のスクロールが操作しづらい。(入力項目が多いため) 2. 6. 入力画面に日付形式、データ属性、桁数が解るようなガイダンスとチェック機能がほしい。 3. 入力途中のチェックでエラーになると最初からファイルを読み直さなければならない。途中まで入力したものが無くなってしまう。(エラー後の戻り先がまずい。) 4. InfoPath画面から情報区分を入力させたい。 5. 「情報区分」という言葉がAIS、ECALS等の情報の種類をさす場合と、CII変換後の中で使われている「情報区分…」があり紛らわしい。名称変更(データ交換区分等)が必要。 6. エラー時のメッセージ解説とその対処方法がわかるようなマニュアルが必要。 7. 入力軽減策としてENUM項目はプルダウンからの選択としてほしい。 8. 入力項目の定義を明確にしてほしい。 9. 依頼BDから回答BDに自動で置き換える機能がほしい。 10. ECALGAのCBC/BCコンセプトとの整合性をとる必要がある。 11. 12. 説明書の内容を充実させてほしい。 13. 入力項目が必要不可欠なものか再度見直してほしい。エラーチェック機能を充実させてほしい。 14. ファイル読み込み/保管先で指定したフォルダーを次の回の同様の操作時にも引き継いでほしい。	1-12. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会にてInfopathの位置づけを決定後、検討する。BDの定義を含む。BDの項目引継ぎを含む(依頼と回答を分ける/分けないも含む)。  13. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会でのBD検討および項目を表示しないASPサービスの検討。 14. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会にてInfopathの位置づけを決定後、検討する。

# 補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

23	ツール群	XMLメッセージ入力支援ツール	機能性・運用性	2)XMLスキーマとのチェックは正しく行われているか？ －構造(項目実在)チェック －必須項目の実在チェック －文字属性のチェック(1byte文字,2byte文字,数字,日付) －桁数のチェック －繰返し制限のチェック －入力値の実在チェック	1. 2. 4. 6. 属性、桁数のチェック機能が必要。(1バイト/2バイト文字等のチェックも含む) 3. エラーチェック内容と対処の仕方が解るようにしてほしい。 8・必須入力項目が解るようにしてほしい。 8・ひな形データを読み込み修正することでデータ作成できるようにしてほしい。	1－8. <b>【ECM委員会／情報技術委員会】</b> <u>磯部さんと大関さんでチェック項目を洗い出し、ALSIでInfopathをチェックする。</u>
24				3)メッセージヘッダー －項目は正しく設定されているか？ －ASP間連携上問題はなかったか？	1. CII形式のデータ項目にプログラムで自動設定しているものがある。説明書には利用者にも解るようにしておいてほしい。 3. 全角/半角文字のチェック機能がほしい。(XMLスキーマ定義でチェックできるのでは？)	1. <b>【ECM委員会】</b> Infopathの改良。 3. <b>【ECM委員会】</b> 前述。

# 補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

25	ツール群	XML/CII変換ツール	機能性・運用性	1) ツール機能 ーインストールは容易ですか？ ー実行は容易ですか？	1. 3. 入力/出力ファイル名を任意の名前で設定できるようにしてほしい。 4. 8. 全角/半角文字のチェック機能がほしい。 5. 説明書の内容を充実させてほしい。 6. ファイル出力で直接CII形式のデータを吐き出してほしい。 9. 入力フォルダーにある任意のファイルを一括変換してほしい。	1. 3. 4. 5. 8. 9. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会で変換ツールの位置づけを明確にした後、検討する。 6. <b>【ECM委員会／情報技術委員会】</b> ツールの連携の検討。
26				2) CII形式に問題はありますか？ ー双方向変換に問題はなかったか？	1. 1バイト/2バイト文字の必要なチェックを行ってほしい。 2. CII→XMLへの変換でエラーになるケースがあるが、エラー内容が読み取れない。 3. CII変換時にプログラムで自動設定している項目を説明しておいてほしい。	1. 2. 3. <b>【ECM委員会／情報技術委員会】</b> 前述
27				3) メッセージヘッダー は適切ですか？ ー項目は正しく設定されているか？ ーASP間連携上問題はなかったか？	1. 処理中のエラー内容、そのエラー対処方法が解る説明書がほしい。 2. 入力/出力ファイル名は任意で設定できるようにしてほしい。	1. 2. <b>【ECM委員会】</b> 前述。
28		JEITAクライアント	機能性・運用性	1) JEITAクライアント機能 ーインストールは容易ですか？ ー接続コマンドは簡便ですか？ ー接続機能は十分ですか？	1. 送信済みフォルダー(送信完了/送信失敗)のフォルダー名、ファイル名の設定に一貫性があるのか検証してほしい。 2. 送信フォルダー下の添付ファイル用フォルダーが送信後無くなるが、正しいか？フォルダーをそのまま残すのは問題か？ 3. 8. エラーコード、エラーメッセージ内容を解りやすく説明したマニュアルがほしい。 5. 6. DOSバッチでの実行は現実的か？ 9. ファイルの添付の仕方、添付ファイルの送信方法等の説明書がほしい。	1-9. <b>【情報技術委員会】</b> 情報技術委員会に要望出す。
29		ツール連携	機能性・運用性	1) ツール間の連携は容易にできたか？ 2) 連携上の問題は無かったか？	4. 人手で複数のツールを使い分けて運用していくのは難しい。(①XML作成→②CII変換送信/③CII受信→④XML変換)	4. <b>【ECM委員会】</b> ECM委員会で検討する。

# 補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

30	メッセージ	メッセージフォーマット標準	XMLメッセージフォーマット	1)メッセージ項目に過不足はなかったか？	1. 送信と受信でビジネスドキュメントIDや情報区分を分ける必要がある。	1. <b>【ECM委員会】</b> 前述
31				2)メッセージ項目の内容は適切か？	1. 必要不可欠な項目への見直しが必要。	1. <b>【ECM委員会】</b> 前述
32				3)メッセージは容易に作成できたか？	1. 利用者が解るようにBDの項目を詳しく定義してほしい。(必要性も含めて) 2. 4. 画面入力 of 負荷軽減を図ってほしい。(ENUMはプルダウンからの選択とするなど) 3. 不要な項目は画面から消してほしい。	1-4. <b>【ECM委員会】</b> 前述
33			CIIメッセージフォーマット	1)メッセージ項目に過不足はなかったか？	1. 送信/受信でビジネスドキュメントIDや情報区分を分けてほしい。	1. <b>【ECM委員会】</b> 前述。
35				3)メッセージは容易に作成できたか？	1. ASP側でユーザ間の取引に対して分割モード/通常モードを選択できる機能が必要。	1. <b>【情報技術委員会】</b> <u>はい、その通りです。機能として検討願います。</u>
38	ファイル	ファイル添付	添付ファイルの実装	3)添付ファイルの送受信に問題はなかったか。	2. 添付ファイルの容量制限に対するガイドラインが必要。(無制限に許容するにはシステムの性能、リソースからリスクがある。) 3. 送信後フォルダーのフォルダー名の付け方を見直してほしい。(利用者のニーズに合っているか？) 4. BD上の添付ファイルのファイル名と実際の添付フォルダーに格納されたファイル名との関連は系統的にチェックされているのか？ 5. 複数のファイルを添付する場合、どのようなルールで情報交換するのか？また。圧縮されたファイルを添付する場合のルールは？ 6. 7. 添付ファイルの送信方法が解りづらい。	1. <b>【解決済み。】</b> 2. <b>【情報技術委員会】</b> <u>情報技術委員会にて検討する。</u> 3. <b>【情報技術委員会】</b> 前述。 4. <b>【情報技術委員会からの見解】</b> 関連付けされています。 6. <b>【マニュアル記載あり。】</b> 7. <b>【マニュアル記載あり。】</b>



# 補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

## 課題・要望

39	全体プロセスの評価	業務管理	プロセス管理	1) 単一メッセージでプロセスを管理する上で問題はありますか？	1. 依頼/回答で情報区分を分ける必要がある。 2. 複数企業と情報交換を行う場合には送受信のフォルダーを企業単位で分けなければ混乱する。	1. <b>【ECM委員会】</b> 前述。 2. <b>【利用企業での対応】</b> 利用企業で対応してください。
42				4) 業務に必要な要件を満たしていますか？	2. 各ツールは繋げて連続処理させたい。 3. 交換企業ごとに送受信等の処理環境を分けたい。 4. 受けた情報/データを社内でどのように管理・活用するのかの検討が必要。 5. 6. 送受信の保守・運用管理を社内で検討する必要がある。	2-6. <b>【利用企業での対応】</b> コメントなし。(利用企業側で対応を検討願います。)
45		情報提供	情報作成	3) 環境情報及びECALS情報作成は容易でしたか？	3. データ変換のプロセス(ステップ)が多かった。 6. データ作成は容易ではない。 7. ECALS作成支援ツールを使ったデータ作成ではうまく運用できない。(自社内のDBからカット&ペーストで貼り付けできる機能がほしい。)	3. 6. コメントなし。
46				4) 作成支援ツールは有用で簡便でしたか？	6. 作成支援ツールからXMLデータ形式等を吐き出す機能等が必要。 8. ECALSデータ作成は簡便ではない。(何を入力するのかの確認が必要だった。)	6. <b>【ECALS実用化専門委員会】</b> 機能追加についてECALS実用化専門委員会で検討する。
47		BtoBプロセス	BtoBでの交換(パターン2およびパターン3)	1) BtoBでの技術情報交換のプロセスは適切でしたか？	2. 受信データの社内システムへの取り込みの検討が必要。	2. <b>【利用企業の対応】</b> コメントなし。
48				2) 技術情報交換の単位や契機(単発かバッチ処理か)が適切でしたか？	1. バッチ処理ではツールを連携・連続させて処理させたい。 2. WebEDIでは依頼が無くても回答が送付できる機能がほしい。 3. 今回の実証実験で基本的なBD/プロセスでは問題なかったが、実際の業務に照らして新たな条件等が見つかれば柔軟に項目等の見直しが必要。	1. <b>【利用企業での対応】</b> 前述。 2. <b>【情報技術委員会】</b> <u>Web-EDIのバイヤーからのトリガー。</u> 3. <b>【利用企業内の対応】</b> 利用企業側での業務での対応
56		実験パターンの取決め	取決めと運用	1) 実験パターンの取り決めとその運用は適切でしたか？ c実験パターンに過不足はありませんか？	1. JAMP-GPでの情報交換では実業務での利用を兼ねながら実施したためAIS以外の情報は交換できない。	1. <b>【情報技術委員会／ECM委員会】</b> <u>AIS以外の情報授受。</u>

補足. 実証実験で評価・抽出された課題と要望および各委員会の対応策

課題・要望

58	その他	社内システムとの連携	実施の評価	1) 社内システムとの連携を実施しましたか？	3. BDに記載される添付ファイル名と実際の添付フォルダー内のファイル名はチェックが必要。 6. 社内アプリではECALGA・XMLに対応できる仕組みとはなっていない。変換の処理が必要となる。	3. <b>【回答済み】</b> 前述。(BDの添付ファイル名と添付ファイルとの関連づけは明確になっているとの回答あり。) 6. <b>【利用企業内の対応】</b> 自社アプリとの連携。
59				2) 実施しなかった方: 今後の必要性和実施する為の問題点は何ですか？	1. 実際のビジネスモデルに対応できる内容になっているか。(設計→調達→仕入先、仕入先→調達→設計) 2. BDに記載される添付ファイル名と実際の添付フォルダー内のファイル名はチェックが必要。(上記と同じ) 3. ECALSデータ形式(GSV、XML・・・)の取引間での合意が必要。 4. 送信データ量の見積もりと添付ファイルの圧縮等の考慮。(ガイドライン、考え方等) 5. 7. 8. 社内での社内システムとの連携方法検討が必要。 9. 社内でのメリット/デメリットの検討・評価が必要。 10. PLM、PDMの導入検討が必要。	1-9. <b>【利用企業内の対応】</b> 利用企業側で自社アプリとの連携の検討。
61				4) 追加、改善すべき点はありますか？	1. AISデータと重複する項目がある。提供側のデータ作成負荷が増える可能性がある。 2. ENUMのような項目はプルダウン等による入力負荷軽減を考えてほしい。 3. 本ドキュメントを統括管理する手段が必要。(?) 6. DOSコマンドは使いつらい。 7. 送受信のフォルダー管理に工夫が必要。 8. BD送信後の状況(ASP側でのエラー、相手先が受信・・・)が解るようにしてほしい。 9. メールと今回のJEITAクライアントでの情報交換の比較評価がほしい。 11. 添付ファイルを社内システムに取り込む仕組みが必要。	1-3. 6-9. 11. <b>【利用企業内の対応】</b> 利用企業側で自社アプリとの連携の検討。
62	エラーの発生	エラー処理		1) どのようなエラーが、どのような時点、操作で発生しましたか？	1. クライアントPC側でOKであったデータがWebEDI側でエラーとなった場合のリカバリーが大変。 3. ASP内部処理でエラーになり、ASP後続の処理がストップしたケースがあった。 4. InfoPathでBD作成時に一旦エラーが出ると画面を一旦閉じなければならず面倒。 5. BD送信後、ASP内部の処理結果が利用者側では解らない。 6. CIIデータを受信後、XMLに変換する過程でエラーとなった。 8. ASP間送信時に通信エラーが発生した。	1-3. <b>【ASP】</b> 1-3. 前述。 4. <b>【ECM委員会/ALSI】</b> 改善要。InfoPathエラー時の対応。 5. <b>【ASP】</b> 前述。ASPでのエラーの送信側への連絡。 6. <b>【ECM委員会/ALSI】</b> 前述。(半角/全角混在のケース。) 8. <b>【NECで対応済み】</b> 解決済み。
65	自由記述:				1. クライアントPC側でOKであったデータがWebEDI側でエラーとなった場合のリカバリーが大変。 3. ASP内部処理でエラーになり、ASP後続の処理がストップしたケースがあった。 4. InfoPathでBD作成時に一旦エラーが出ると画面を一旦閉じなければならず面倒。 5. BD送信後、ASP内部の処理結果が利用者側では解らない。 6. CIIデータを受信後、XMLに変換する過程でエラーとなった。 8. ASP間送信時に通信エラーが発生した。	2. <b>【ASP】</b> ツール間の連携の検討。 5. <b>【ECM委員会/情報技術委員会】</b> 依頼BDから回答BD作成の機能。 6. <b>【ECM委員会】</b> InfoPath画面での使い勝手向上。

